



インスピレーションになろう

国際ロータリー第2750地区
東京多摩グリーンロータリークラブ
2018～2019年度

会報

増強から広げる



2019. 06. 05 第1314回例会 No. 29-38 2019. 06. 12 発行

◎司会 SAA・親睦委員 徳原 透

◎開会点鐘 会長 三田みよ子

◎国歌「君が代」斉唱

ロータリーソング「我等の生業」

ソングリーダー吉沢 洋景

◎「四つのテスト」唱和

SAA・親睦委員 徳原 透

◎お客様紹介 会長 三田 みよ子

本日お客様はありません。

◎会務報告 会長 三田 みよ子

6月5日、第17回定例理事会の報告

*6月19日最終例会は、会員及びパートナー共、登録料5,000円で決定。三田年度最後の例会となりますので、是非ご夫君・奥様ともどもご出席を！

*7月21日に行なわれるオリンピック・パラリンピックの模擬自転車競技会でのボランティア協力についてはクラブとして参加する。日程としては次年度のことですが、当年度理事会としての姿勢です。

◎幹事報告 幹事 菊池 敏



*配布物:「ロータリーの友」6月号

最終例会の案内

*回覧:最終例会出欠表

*他クラブ例会変更については、事務局に照会のこと。

◎次年度会務報告 会長エレクト 入沢 修自

5月22日、第5回被選理事会の報告

*次年度予算検討に関連し、かつて当クラブには会員数に応じた特別会費の徴収規程があったという点

について。2002年の細則改定により特別会費制度を制定したが、2008年の細則改定により廃止されていることを確認した。

*次年度活動計画を次週例会後の被選理事会にて承認し、17日月曜日に印刷・製本を行なう予定。

*奉仕プロジェクト立案委員長より、5月30日に炉辺会合を開催した旨報告があった。

【 委員会報告 】

◎出席報告 出席奨励委員会 守田 亨

会員総数	30名
出席義務免除者	7名
出席者数	17名
出席義務者	17名
出席免除者	5名
計	22名

出席率 22/28 = 78.57%

第1312回(5/22) 訂正出席率 83.33%



◎ニコニコBOX SAA・親睦委員 小泉 博

三田みよ子 先日は座禅例会お疲れ様でした。小坂さん卓話宜しくお願ひします。

菊池 敏 小坂さん卓話宜しくお願ひします。

福岡 均 澄川会員の体調が良くなりますように。天に願ひを込めて！

田崎 博実 今日も1日頑張りましょう。

守田 亨 小坂様卓話楽しみにしています。

田村 豊 小坂先生卓話楽しみです。

瀬戸 武 久しぶりの出席ですみません。

大槻 一夫 小坂会員 卓話楽しみにしております。

伊澤ケイ子 小坂さん卓話ご苦労さまです。

初野 有人 6. 4 虫歯の日で多摩で開業して、満11年になります。
 杉山 真一 小坂様 卓話宜しくお願ひします。
 伊藤 綾乃 小坂会員の卓話楽しみにしています。
 大松 誠二 小坂さん、卓話頑張って下さい。
 関岡 俊二 先週の坐禅例会 皆さんご苦労様でした。



小泉 博
 座禅例会出席できず残念
 小坂さん卓話楽しみです。

本日の合計 ¥ 30,000
(累計 ¥ 886,324)



◎卓話者紹介 プログラム委員長 初野 有人

世の中でいろいろと問題になっている薬物、今朝ピエール瀧の実刑判決も出ました。この頃は大変身近な問題となっています。今日は多摩市薬物乱用防止推進協議会会長である小坂会員にお話を伺います。薬物乱用の実態を知っていただき、もし身のまわりにそんな危ない道に染まりそうな人がいたら救ってあげて下さい。小坂先生どうぞ！

◎卓話 「薬物について」 小坂 一郎 会員

今ご覧の通り、ちょっとヨロヨロしちゃいました。私は年齢81歳、クラブで最高齢だと思います。今日はこの歳まで長いことやって来たことの一端をお話してみようと思います。



当クラブの次年度奉仕プロジェクトのテーマの1つが「薬物乱用防止」ということですが、先ず「知ること」が一番です。今日は、ほんの入り口、入門編です。大麻(マリファナ)は日本では昔から、そこらじゅう何処にでもある草で、麻薬という意識はありませんでした。神社・仏閣、家庭の神棚に神みたいに飾ってありました。ところで多摩市薬物乱用防止推進協議会は、保護司会・民生委員・薬剤師会の3団体6名のメンバーで成り立っており、すべての活動は全くのボランティアです。私は東京都の副会長もやっています。どのような活動をしているかと言いますと

- ・5月の連休に多摩センターで、各種イベントに繁華街などで、キャンペーンパンフやティッシュ配布など。
- ・中学校に依頼して生徒諸君からキャンペーンポスターや標語の募集をします。
- ・私は毎年、多摩センターの山の上にある都立看護専門学校で新入生に90分の講義をしています。
- ・自分たちの研修として都立薬草園の視察や税関で密輸の実態見学などもやります。二重壁コンテナや象牙に詰めた密輸などいろいろです。
- ・ダルク(薬物依存症の治療と社会復帰を目的とするNPO法人)の視察・患者との懇談などもやります。彼らは、もう決してやりません、と本当に決心して出所して行くのですが3~5年もするとフラッシュバックといって又つい手を出して舞い戻って来ることが多いのです。一度染まると中々抜けられないのです。

最近若者~芸能人や特殊な人たちに限らず、資料に見る通り中央省庁の職員にまで蔓延の兆しがあります。諸外国の法規制の変化による薬物に対する常識の変化、ITなどより入手方法が簡便になったこと等々で身近に存在する状態 → つい手を出すという図式。皆さんにも別資料のような薬物入手の勧誘がITを通じて届くかも知れません。医者処方以外には、決して乗ってはいけませんよ！

オリンピックがあります。外国人が大勢来日します。警視庁は大変緊張しています。

さて多摩グリーンRCとしては何が出来るでしょうか？ 次の機会に考えてみたいと思います。

- ・例会で大麻の怖さを知ってもらおう。世間には出ていませんが、犬に摂取させた動物実験のDVDをお見せできます。
- ・税関見学 → 密輸の実態視察。
- ・キャンペーンパンフ、ティッシュの配布。
- ・多摩グリーンRC印のクリアファイル作成・配布は？
- ・中学生のキャンペーンポスター応募に多摩グリーンRC賞は如何？

実態を知っている方の話、いろいろありました。

◎お礼と閉会点鐘 会長 三田 みよ子
 (今週の担当 宮本 誠)